

【新規】

事業名	漁港施設機能強化事業	事業概要	全体計画	①総事業費 25,000千円 ②事業目的 府内漁港の施設設計の基礎となる沖波諸元を見直す ③事業内容 設計沖波の見直し ④事業期間 令和6年度				
フカナ地区名	キョウトフ エンガンテク 京都府沿岸地区		5年度当初までの実績	①事業費 — ②事業内容 —				
事業主体	京都府		6年度計画(5年度補正含む)	①事業費 25,000千円 ②事業内容 設計沖波の見直し 一式				
現況等	府内漁港の施設設計の基礎である設計沖波について、前回の設計沖波の設定から10年以上が経過しており、現場状況との乖離が生じている。		負担割合	国:50%,府:50%				
事業効果	設計沖波を近年の波高上昇を考慮した適切な値に見直すことで、災害リスクに備えた漁港施設設計を図る。		年度区分	年度	R5当初まで	R5補正	R6	R7以降
コスト削減	適切な沖波諸元を使用し漁港施設を改修することで、台風・高潮時の漁港施設、漁船等の被害を軽減することにより、復旧等コストの削減ができる。			事業費(千円)	0	0	25,000	0
環境・景観への配慮	適切な沖波諸元を使用し漁港施設を改修することで、過不足のない防波堤の嵩上げ等の改修が可能となり、漁港の景観を著しく損なうことを回避する。							

【概要図】



①高波浪による防波堤越波（間人漁港）



②高波浪によるケーソン移動（野原漁港）